

主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター（AIC）

共催：瀬戸内考古学研究会、愛媛大学法文学部考古学研究室、
愛媛大学国際連携推進機構、愛媛大学法文学部人文学科

第5回 AIC 国際シンポジウム

「東アジア塩業考古学の現状と課題」

2011年、愛媛大学考古学研究室が発掘調査した上島町宮ノ浦遺跡が架け橋となって、山東大学と愛媛大学とが「塩業考古学」で共同研究を開始することになりました。

その第一歩となるシンポジウムを、下記の要領で開催いたします。

記

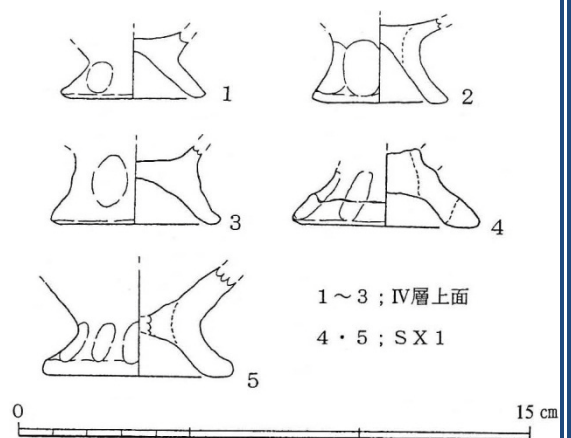
2012年8月18日（土）13:00-17:50

愛媛大学（城北キャンパス）南加記念ホール

- 13:00-13:20 趣旨説明 村上恭通（AIC）
13:20-14:20 方輝（山東大学） 山東地域における殷周時代考古学の新発見
14:20-15:50 王青（山東大学）
山東沿岸における西周時代の南河崖製塩遺跡の調査と研究
15:50-16:05 休憩
16:05-16:45 柴田昌児（愛媛県埋蔵文化財調査センター）
瀬戸内海における製塩考古学の現状と課題
16:45-17:50 討論（コーディネーター 村上恭通）
（終了後に、懇親会を予定しています。）



山東省南河崖製塩遺跡出土土器



愛媛県宮ノ浦製塩遺跡出土土器

参加無料、申込不要。（なお、懇親会に参加希望の方は、
村上恭通 kotetsu@stu.ehime-u.ac.jp までご連絡ください。）
HP：http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/